令和２年４月

　　　 　　　　　幼保連携型認定こども園

 　　　日吉町保育園

 　　　園長　　　堀田　卓文

　　　　　　　　　　　　　施設の自己評価について

　昨年度末に実施した保護者アンケートを受け職員会議および職員園長面接において、自己評価を実施しました。以下改善点をふまえ自己評価を記載いたします。

 ※保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」44.4％３２名「満足」38.9％２８名

「どちらともいえない」12.5％９名「不満」4.2％３名でした。

１　行事等についての改善点及び自己評価

 ・　誕生会など幼児と乳児すべての子供が一同に参加する行事については、発達段階に応じ　　て参加を柔軟に考えた。特に０才児の参加の時期を後半主体にしたことによって、移動がスムーズにできた。

　・　園の夏祭、運動会など、熱中症の心配が保護者から指摘されていたので、こどもの健康　　管理については、ひきつづき万全をきす。

　・　運動会などのテントについては、業者に委託して設置を依頼し、設置にかかわる職員お　　よび保護者の負担を軽減できたので、引き続き予算化する。

　・　各行事の後の反省を子どもの姿で明確にすることを通じて、自己評価や改善に結びつけ　　ていくことができた。

　・　個々の子どもの課題について、職員会議での話し合いを通して共有する。また、職員が　　子どもに対して、共通行動ができるように、具体策を話し合う。

　・　職員会議の内容を全職員にすみやかに共有化できるよう、会議内容の記録方法を工　　　　　夫したい。（改善点）

２　カリキュラム等についての改善点及び自己評価

　・　外部講師による体育教室は、楽しく体を使い動かすことの喜びを知るという意味で大変　　有効であった。また、体育講師の指導法を学び保育教諭自身の指導スキルを高めることが　　できた。また、講師による体育教室の実施されない日の子どもの体育指導についても、課　　題継続性を意識して、取り組み一定の成果があらわれつつある。

 ・　英語教室については、継続実施しているが回数については子どもの発達段階を考慮した　　上で検討したい。（継続）

 ・　引き続き子ども達の、体力面での充実をはかりたい。

 ・　地域の交流があまりない点が指摘されている。どのような形で可能か研究したい。

３　施設その他の 改善点及び自己評価

　・　園庭についは、安全に運動ができるよう整備を実施することができた。

　・　中心市街地に近いということで、園内には、充分な運動スペースが確保できないの　　　　が、現状であるが、近くに公園等を利用して、ハンデを克服したい。

　・　中心市街地に近いということは、バスや電車の利用や商店街を散歩する際の公衆道徳の　　指導、交通量の多い場所での安全な歩き方の指導等、実践の場が身近にあることを学習の　　場ととらえていく。職員が常に意識して子どもの道徳意識の向上をはかりたい。

　・　年長児においては、バス・電車等の公共交通機関の利用の仕方も上手にできるようにな　　ってきた。

　・　保護者の保育相談には、おおむね真摯に対応できているが、今後とも職員によって、　　　対応に差がでることが無いように、事例研究を通じて、共通認識を深めるようにする。

　・ 職員のさらなる資質の向上のために、施設としても、研修参加の時間確保に努力する。　・　今後とも、園児と保育教諭の配置数にを、法定よりも余裕のある職員配置にすることを、　　継続できるよう努力していく。

　・ 職員自身が、心身ともに健康で子どもと接することが、すばらしい子供たちの未来の　　　ために、大切であると考えている。そのために施設としても労働環境の改善を怠らず努力　　し保護者にも理解をもとめていく。